

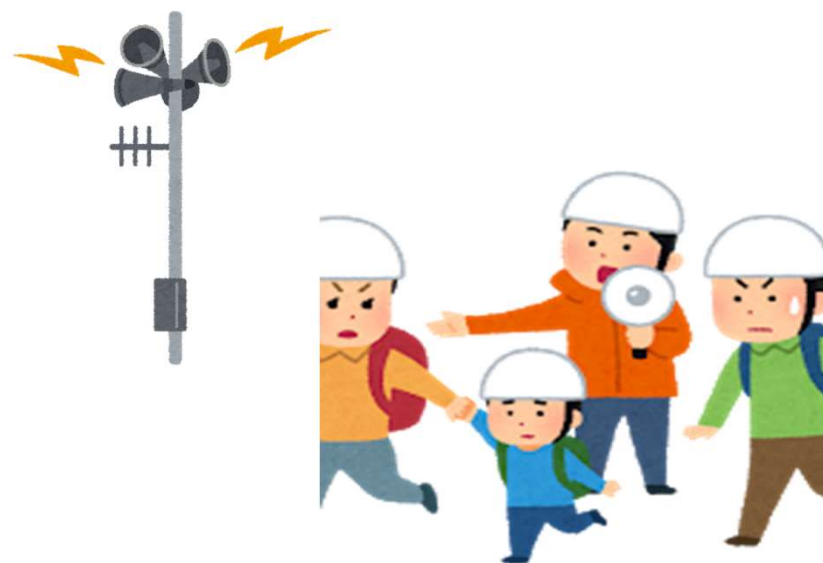
避難行動要支援者支援事業 説明会

和泉市 福祉部 福祉総務課



避難行動要支援者支援事業とは

災害が起きた時に自力で避難することが難しい身体の不自由な方や高齢者などの被害を地域における助け合いにより減らそうとする事業です。



避難行動要支援者とは (以下、「要支援者」と表記)

- 身体障がい者手帳1級・2級の方
(呼吸器以外の内部障がいのみの方を除く)
- 療育手帳Aを所持する方
- 精神障がい者保健福祉手帳1級の方
- 要介護認定3・4・5の認定を受けた方
- 安否確認情報の登録事業(現在は廃止)に登録されていた方
- 避難支援等関係者が推薦する方(自力で避難所まで移動することが困難、又は、避難所の場所を理解することが困難な方など)



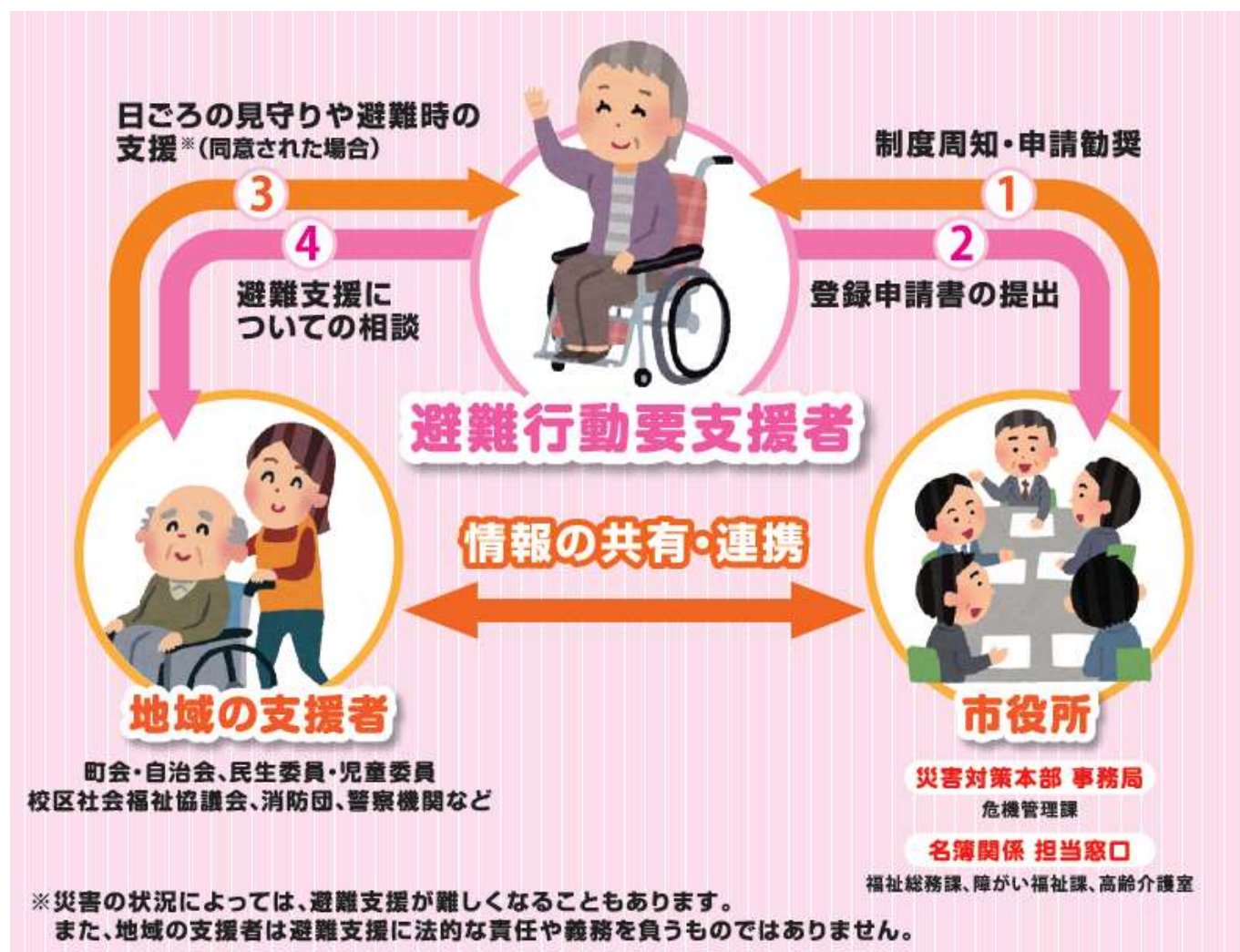
※入院・入所している方は除きます。

避難支援等関係者とは (以下、「地域の支援者」と表記)

- 町会・自治会
- 民生委員・児童委員
- 校区社会福祉協議会
- 消防団
- 警察機関
- その他（マンション管理組合等）



避難行動要支援者支援事業の流れ



避難行動要支援者同意台帳とは (以下、「同意台帳」と表記)

- 自分の情報を地域の支援者へ提供することに同意した方の情報を載せた台帳のことです。
- 前回は掲載されていたが今回掲載されていない理由は
 - ▽家族などの支援があり同意されていない場合
 - ▽転出死亡など住民基本台帳に変更があった場合
 - ▽要介護認定や障がい者手帳の等級低下があった場合
 - ▽入院、入所された場合など
- 令和7年12月頃には、今年5月1日以降に避難行動要支援者となった方で、新たに同意があった人の情報をお渡ししますので、今回お渡しした台帳に綴って保管してください。
- 次回の台帳交換は、令和8年7月頃を予定。

今回掲載されている対象者

対象者は次の①②③のすべての条件に該当する方

- ①令和7年5月1日時点で避難行動要支援者
- ②令和7年5月1日までに地域への情報提供に同意
- ③令和7年5月1日時点で死亡・転出されていない方

地域にお住いの対象者（要支援者）を、支援者団体ごとにまとめて、台帳を作成しています。

一覧表

氏名	性別	生年月日	年齢	住所	電話番号	校区	身体手帳	療育手帳	精神手帳	要介護度	民生委員	町会自治会名	消防団
和泉 太郎	男性	昭和〇年〇月〇日	75	和泉市〇〇町〇〇ー〇〇	0725〇〇〇〇	〇〇				要介護3	〇〇 〇〇	町会	第〇分団
和泉 花子	女性	昭和〇年〇月〇日	77	和泉市〇〇町〇〇ー〇〇	0725〇〇〇〇	〇〇	身障1級				〇〇 〇〇	自治会	第〇分団

※担当地域の要支援者が一覧になっています。

個別支援計画（おもて）

- 避難支援等を円滑に行うため必要となる詳細な情報を掲載した個別の計画のこと。

【計画作成の目的】
避難支援の実行性を高める

本人情報

氏名	和泉 太郎	フリガナ	いずみ たろう
生年月日	昭和〇年〇月〇日	性別	男性
年齢	75 歳	郵便番号	594-〇〇〇〇
住所			
電話番号 1	0725〇〇〇〇〇〇	電話番号 2	090〇〇〇〇〇〇
FAX			
所属地域	〇〇		
民生委員氏名	〇〇 〇〇		
町会・自治会	町会		
消防団	第〇分団		
医療機関			
対象者情報	要介護 3		

避難情報

支援者の支援内容	視力に障がいがある		
決まった外出等			
風水害		地震	

個別支援計画（うら）

- 避難支援等を円滑に行うため必要となる詳細な情報を掲載した個別の計画のこと。

【計画作成の目的】
避難支援の実行性を高める

緊急連絡先情報

緊急連絡先	氏名	〇〇 〇〇	フリガナ	〇〇 〇〇
1	続柄	〇	同居/別居	
	住所	和泉市 町〇〇—〇〇		
	電話番号1	090〇〇〇〇〇〇〇〇		
	電話番号2			
緊急連絡先	氏名		フリガナ	
2	続柄		同居/別居	
	住所			
	電話番号1			
	電話番号2			
緊急連絡先	氏名		フリガナ	
3	続柄		同居/別居	
	住所			
	電話番号1			
	電話番号2			

個人情報保護

- 同意台帳には大切な個人情報が掲載されていますので適切に管理してください。
- 必要以上の複製、複写は行わないで下さい。
- 同意台帳の受取者が変わった場合も、取り扱い方法について引継ぎを行って下さい。
- 同意台帳を元に知り得た情報を第三者に漏らさないで下さい。自身が支援の担当から外れた後や事業において当該情報を利用しなくなった後も同様です。

台帳を活用した地域での取組みについて

支援体制の構築・取り組み



避難行動要支援者支援 マニュアル

【支援者用】(R7年度版)

★災害時は 無理をせず できることを！

- ・支援者はまず、自ら及び家族の安全確保を**最優先**で行ってください。
- ・支援者は避難支援に関して**法的な責任や義務を負うものではありません。**

和泉市府中町二丁目7番5号

和泉市 福祉部 福祉総務課 地域福祉係

T E L 0725(99)8126 (直通)

Step① 要支援者を把握する



- 同意台帳の中身を確認
⇒どこにどんな方が住んでいるのかを確認。
- 既に個別支援計画を作成している人
⇒その他支援に必要な情報も記載があるので併せて確認する。

確認した情報を活用し、地域の避難支援体制構築の参考にしてください。

Step ② 地域の支援体制を決める

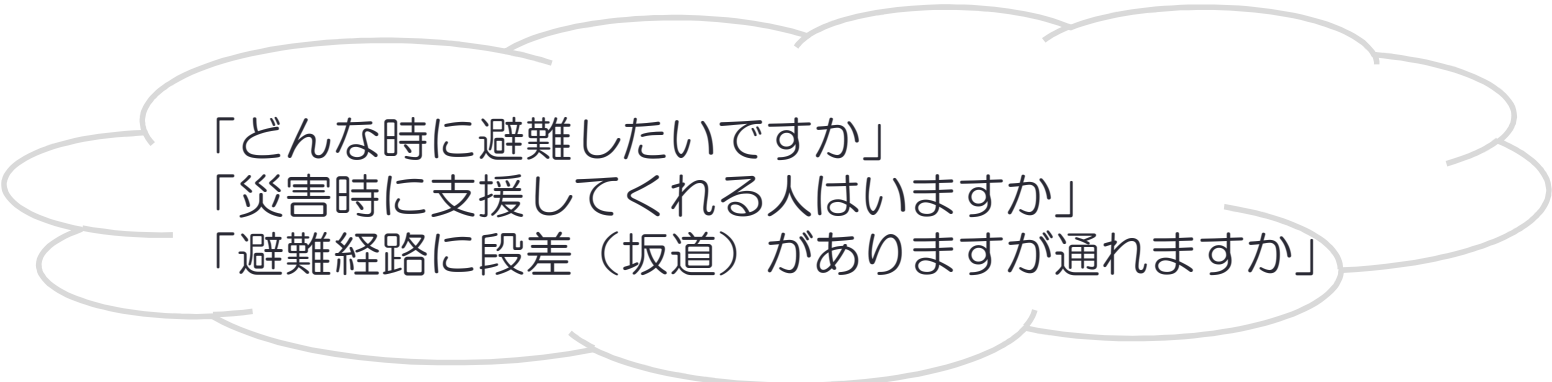
- 地域における全体的な避難ルールや避難経路など確認。
- 取組みの進め方や個人情報の取扱いなどルールを決める。



- 個人情報に関すること
 - ①個人情報の取扱いルールをつくり組織内で共有する。
 - ②要支援者本人に誰に個人情報を共有するか確認する。

Step ③ 家庭訪問する

- 要支援者とまずは顔見知りになる。
- 民生委員・児童委員や校区社協ボランティアの方など、日ごろから関わりがある人と訪問すると、お互いに安心できます。
- 訪問した時に、避難支援に必要な情報を確認します。



「どんな時に避難したいですか」

「災害時に支援してくれる人はいますか」

「避難経路に段差（坂道）がありますが通れますか」

Step ④ 支援者を決める

支援者の決め方（例）

- 訪問時、災害時に助けに来てくれる家族（親族）や知り合いがいるかを確認します。
- いる場合 ⇒ その方に近隣の支援者になってもらえるか、要支援者ご本人から確認してもらいましょう。
- いない場合 ⇒ 町会、自治会の班やマンションのフロアの単位で支援するなど、話合いの場を持って支援の輪を作りましょう。



Step ⑤ 避難訓練を試してみる

- 地域の防災訓練に要支援者自身が参加してもらうなど、災害発生を想定した訓練を行って、要支援者の安否確認や避難誘導などが実際に上手くできるかどうか、実践してみましょう。



要支援者の情報に変更があった場合…

- 「和泉市避難行動要支援者 登録変更届」の提出が必要。
- 提出いただいた内容は、次回の台帳更新時（毎年7月頃）に反映されます。

様式第3号（第6条関係）

年 月 日

和泉市避難行動要支援者 登録変更届

和泉市長 あて

本人住所 _____

本人氏名 _____

○本人が署名できない場合は、下記に代理の方の署名をお願いします。その場合、上記の本人住所と本人氏名の記入をお願いします。

代理人 氏 名		本人との ご関係	
------------	--	-------------	--

○次のとおり変更がありましたので、届け出ます。

（変更事項）

1. 住 所 2. 電話番号・FAX番号 3. 携帯電話番号
 4. メールアドレス 5. 避難支援時の配慮事項 6. 緊急連絡先
 7. 同居家族の人数 8. 入院・入所（在宅復帰の予定 あり ・ なし）
 9. 退院・退所 10. 同意取消し（個人情報の事前提供に対する取消し）

以下、個別支援計画に関すること

11. 生活状況 12. 家族等連絡先 13. 関係機関
 14. 日頃の関わり 15. 身体状況 16. 避難時の持ち物
 17. 避難支援の希望 18. 避難先の希望 19. 避難先での希望
 20. 別紙（個別支援計画に赤字で修正いただき、提出することができます。
 この場合は提出前に複写し、更新されたものが届くまで保管しておいてください。）

番号 ()	変更前	
	変更後	
番号 ()	変更前	
	変更後	
番号 ()	変更前	
	変更後	
番号 ()	変更前	
	変更後	

要支援者の情報に変更があった場合

- 市の福祉総務課へご連絡をお願いします。
- 市から要支援者本人に個別支援計画を郵送し、内容の確認及び「自分の命は自分で守る」という意識づくりを呼びかけます。
- 変更内容は、次回の台帳更新時（毎年7月頃）に反映させていただきます。

地域の支援者の方に行っていただきたい支援

①情報伝達

②安否確認

③避難支援



警戒レベル	避難情報等	避難行動等	警戒レベル相当情報(例)
高 5	緊急安全確保 災害発生または 切迫した段階で発令 (和泉市が発令)	命の危険 直ちに安全確保	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 ~~~~~			
4 全員避難	<b>避難指示</b> 地域の状況に応じて 緊急的に避難を促す 場合等に発令 (和泉市が発令)	<b>危険な場所から 全員避難</b>	<b>警戒レベル4相当情報</b> 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
3 高齢者等は避難	<b>高齢者等避難</b> (和泉市が発令)	<b>危険な場所から 高齢者や障がいのある人等は避難</b>	<b>警戒レベル3相当情報</b> 氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報 等
2	<b>大雨・洪水 高潮注意報</b> (気象庁が発表)	<b>自らの 避難行動を確認</b>	<b>警戒レベル2相当情報</b> 氾濫注意情報
低 1	<b>早期注意情報</b> (気象庁が発表)	<b>災害への心構えを 高める</b>	

警報等が発表されても、警戒レベル・避難指示等の避難情報が発令されるとは限りません。  
警戒レベル・避難指示等の避難情報は、気象状況や市内の被害状況等を総合的に判断して市が発令します。

# 災害時の地域での動き（例）

普段から避難所・避難経路の確認、必要な食料・トイレ等の備蓄を心がけましょう。

大雨や地震の時は、テレビやインターネットなどで最新の情報を確認し、早めの避難に備えましょう。また、和泉市では迅速に防災などの行政情報を受け取れる電子メール配信サービス「いすみメール」を提供していますので、携帯電話での利用登録をしておきましょう。

## いすみメールの登録方法

[izumimail@safe.city.izumi.osaka.jp](mailto:izumimail@safe.city.izumi.osaka.jp)

- ① 上記のメールアドレス（二次元コード利用可）より空メール（件名・本文不要）を送信してください。
- ② 返信メールを確認し、本登録を行ってください。
- ③ 本登録では、氏名の入力と希望するカテゴリーを選択し、送信してください。
- ④ 登録完了のメールが届いて本登録完了です。



• お知らせ情報  
• 防災・防犯情報  
• 教育・文化情報  
• 高齢者支援情報など

1

今後気象状況  
悪化のおそれ



早期注意情報  
（気象庁）

- 今後の気象情報に留意し、災害への心構え高める。

## 2

大雨・洪水・高潮注意報  
(気象庁)

- ・ 台風の進路や大雨の状況など情報収集
- ・ ハザードマップ等で危険性のある区域や避難場所の再確認

支援者

- ・ 同意台帳に記載されている要支援者の台帳情報を再度確認
- ・ 情報収集することが難しい方に、事前の情報提供 など

要支援者

- ・ 災害情報を入手する手段の再確認
- ・ 家族等連絡が必要となる方との連絡方法の再確認
- ・ 食料、常備品等の持ち出し品を再確認し、避難する際の準備

## 3



こうれいしゃとうひなん  
**高齢者等避難**

支援者

- 最新の避難所開設状況を確認
- 同意台帳に記載の要支援者へ情報伝達、安否確認
- 要支援者自身や居住家屋の被害状況等を確認
- 避難する場合は避難支援が必要か意思確認

自身や家族の安全を確保した上で、可能な範囲で！

要支援者

- 避難場所への持ち物を最終確認し、家族や地域の支援者等と一緒に、より安全な経路で安全な場所へ避難

4



ひなんしじ  
**避難指示**

- 対象地域の方は、要支援者を含むすべての人が避難

〜 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 〜

5



きんきゅうあんぜんかくほ  
**緊急安全確保**

- 直ちに安全な場所で命を守る行動をとる。
- その場でできる少しでも身の安全を確保するための行動をとる。

## 災害時は無理せずできることを

- 支援者は自身や家族の身の安全の確保を優先して下さい。
- 支援者は避難支援に法的な責任や義務を負うものではない。

無理のない範囲での支援をお願いします

### 要支援者本人に自助努力を求めています

- 令和7年度からは、個別支援計画を要支援者本人にも郵送し、内容の確認をいただくようお願いしていきます。

## これからの取組みについて

- ①個別支援計画の内容変更を把握した場合、市へ連絡をお願いします。

今年は本人にも郵送し、確認いただくようお願いしていきます。

- ②台帳に目を通して、要支援者について知っておいてください。

※新システムの普及を検討していく中で、地域みなさまにご協力をお願いする場合があります。

ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとう  
ございました



作成日 / 令和7年6・7月

作成 / 和泉市 福祉部 福祉総務課

〒594-8501

和泉市府中町二丁目7番5号

電話番号：0725-99-8126